

<国際奉仕委員会>

安藤登委員長

おかげさまで、台湾永和RC30周年記念式典より無事に帰ってまいりました。皆様のテーブルの上にありますチョコレートは、行ってくださった方々のお土産ですので、召し上がりながら聞いてください。

3月15日、午前5時半というとても早い時刻に出発し、台北に着いたのは現地時間で午後2時45分ごろでした。ホテルでちょっと休み、中和市の永和RCの事務所に行って、夕食までソフトドリンクの接待を受けました。そのビル全体が永和RCの所有で、7階に例会場があり、あとは賃貸しているようで、驚きました。そのビルの道路を挟んだ前が歓迎会の会場で、レセプションが行われました。

翌日は夕方までの間、九扮というところへ案内され観光しました。その後、午後6時30分より台北101のコンベンションホール5階で30周年の式典が行われました。古楽器の演奏で始まり、点鐘後、各友好クラブの会長挨拶がありました。その中で際立ったのは、わが渡邊会長のスピーチでした。式典後は101の展望台に上がって、夜景を鑑賞し、流れ解散となりました。

また6月に、詳しい話をさせていただきます。



<親睦委員会>

安藤亨委員長

来週の4月3日(火)は花見ですので、皆様の絶大な参加をよろしく願いいたします。例年は川原沿いを歩いて、桜見物をしながら会場に向かっていましたが、今年は工事をしているので、皆様でそれぞれ見ていただき、

午後6時に「とん鈴」に集まっていたくことにいたします。よろしく願いいたします。



本日のプログラム

<クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS) 報告>

佐々木会長エレクト



1. 2007年～08年度国際ロータリーのテーマ：

「ロータリーは分かちあいの心」

RI会長 ウィルフリッド・J・ウイキンソン氏(カナダ出身)の話から：

ロータリーは最古の国際奉仕クラブ。120万人の会員が世界中で、それぞれの地域社会を改善するために努力している。

3200あまりのクラブは、毎週例会を開いている。

日々、有益で創造的な、ありとあらゆるプロジェクトが実施されている。

ロータリーとは何か。

ロータリーとは、魔力に匹敵するもの。その魔力とは、普通の人でも素晴らしい仕事が遂げられること。

(テーマの理由)

愛と親切心こそがロータリーを可能にしている。

ロータリーは、私たちの手と心とが成し遂げる仕事を通して示される愛ゆえに素晴らしいといえる。

ロータリアンである私たちはその愛を実践し、分かちあい、互いに助け合う。(分かちあいの心)

われを忘れて愛をささげること。(分かちあう)

・私たちが職業奉仕を通して愛を分かちあうのは、自らの職業を通して私たちはロータリーの声となれるから。

・国際奉仕を通じて愛を分かちあうのは、それぞれの国において、一人一人がロータリーの目の役割を果たしているから。

・社会奉仕を通じて愛を分かちあうのは、社会奉仕がロータリーの心臓部だから。